

# 春告草

第112号 平成30年7月5日 進路指導部発行

## 自分にあった大学を見つけよう！

### 夏休みオープンキャンパスが始まる！

6月は大学説明会が続いた。農工大、立教、武蔵、横浜市大、東工大へと毎週末出かけ、7月の初めには平日の午後に、北関東三大学と新潟大の合同説明会が秋葉原で開催される。北関東3大学とは、茨城、宇都宮、群馬の各大学で、関東圏では比較的入りやすい大学だと一般的には評価されている。今年の6年生は例年に比べて、国公立大志向が強いと感じているが、この先、その志向が変わらず、少しでも合格可能性の高い国公立大を探すのなら、志望校候補の1つとして検討しても良いだろう。親元を離れて、アパートを借りての一人暮らしとなるが、そういった経験も自分を成長させてくれるかも知れない。この原稿を書いているのは、その合同説明会前の週末なので、これらの大学の入試情報は次号以降に紹介することにする。水戸や宇都宮、前橋は遠いというのなら、横浜市立大学はどうだろうか。キャンパスは金沢八景である。横浜からは京急・快速特急で18分というから、自宅通学ができないわけではない。規模としては小さいが、マンモス大学にはない、小規模大のメリットもあるようだ。本校の卒業生も通っているが、海が近いので、授業が休講の時に、友達と釣りに出かけ、アジを大量に釣り上げて、鱈フライパーティを急遽開いたなんて話も聞いた。社会人になる前、大学生でしかできない、いろいろな経験を積むことは、その先の人生を送るための大切な財産になるのだろう。大学を良く調べ、自分の力を引き出してくれる大学を自分の目で確かめて大学選びを進めて欲しい。進路部の先生が手分けをしていろいろな大学に出かけ、情報誌などには載っていないような大学情報を聞いてきて、こうやって春告草に掲載しているのも、皆さんが大学調べのきっかけにしてくれることを期待してのことだ。もちろん、きっかけの一つに過ぎないので、その先を詳しく調べることは、皆さん一人一人が自分の責任として実行しよう。

今回は、たまっていた大学説明会レポートを掲載してみようと思う。

### 大学説明会レポート

## ◇横浜市立大学

1 学部・キャンパス情報 大学のルーツは1871年開設の民間病院と1882年設立の横浜商法学校にあるが、その後横浜市立大学に発展・統合され、現在は国際総合科学部、データサイエンス学部(2018年新設)、医学部から構成される。2019年度からは、国際総合科学部が国際教養学部、国際商学部、理学部に再編されて5学部構成となる。キャンパスは金沢八景、福浦、舞岡、鶴見の各キャンパスだが、メインは金沢八景キャンパスで、福浦には付属病院があり、医学部2年次以降の学生が学ぶ。鶴見には付属病院、舞岡には生物学研究所が設置されている。

### 横浜市立大学学部構成(2019年度より)

国際教養学部 [270]	国際教養学科が教養学系と都市学系の2つの学系に分かれ、学系の選択は入学後に行う。
国際商学部 [260]	これまでの経営科学系経営学コース、会計学コース、経済学コースが統合され国際商学科に統合される。「国際」をつけたのは、これからのグローバル社会で活躍できる人材育成を意識したものとか。横浜市や企業と連携した実習教育に重きをおいている。また、データサイエンス学部や医学部と連携した文理融合型実習を実施する。
理学部 [120]	理学科の1学科で、物理学、化学、生物学を基盤に、生命現象を原子・分子・細胞・個体それぞれのレベルで解明し、物質科学と生命科学を融合的に研究する人材を育成する。先端科学分野を医学部やデータサイエンス学部と共同研究できる環境が特徴。
データサイエンス学部 [60]	国立滋賀大学に次ぐ「データサイエンス学部」として、今年度開設。文理融合型で数Ⅲを選択しない受験も可となっているが、個別試験は数学と総合問題(図表データ、文章などの情報を元にした論述問題)であり、学部長も「数学が苦手な人は来ない」と説明していた。新学習指導要領・数学では「統計」分野が重視される等、これからは、ビッグデータの分析・活用がますます要求される。まだまだ、この分野の人材は少ないので、需要は大きい。学部卒の学位は「データサイエンス学士」である。
医学部 [90+100]	医学科と看護学科の2学科からなる。医学部の医師国家試験合格率は97.7%で全国2位と高く、医学系大学の中でもトップクラスの受験生が集まる。看護学部は「科学的思考・研究力とグローバルな教育で、リーダーとなる人材育成」を目指す。

## 2 教育

○**教養ゼミ** 1年次教養ゼミは、各学部の学生が合同で行う。専門の異なる教員2名と学部の異なる学生でクラスを形成し、活発に議論を交わす環境を整え、自分の考えを発表する力を育成する。

○**Practical English** どこでもそうだが、英語によるコミュニケーション能力の育成は大学が社会から求められる課題の一つ。英語活用能力は TOEFL-ITP で測定し、学年ごとに到達水準が定められている。昨年までは、英国人教授が横浜市大での英語教育について英語でスピーチしていたが、今年はなかった。ホッとしたが、その位英語教育に力を入れているということなのだろう（と思う）。

## 3 入試について

○**2018年度入試** 新設のデータサイエンス学部は実質倍率が前期5.7倍、後期7.9倍と高倍率となり、横市一番の人気学部となった。来年度入試は絶対に倍率は下がると、学部長が言っていたが、競合する他大学も少なく、志願動向に注目していきたい。他の学部の実施状況と各学部の合格最低点などは右表に示す通りである。

○**2019年度入試** 国際総合学部が、国際教養学部、国際商学部、理学部の3学部に分離するが、入試科目や配点などに変更はない。A方式、B方式もそのまま新学部を引き継がれる。方式の違いはセンター試験の科目指定などによるもの。国際教養学部と国際商学部のA方式は、5(6)教科7(8)科目、B方式は3教科3科目の科目指定。理学部はA方式、B方式ともにセンター試験は5教科7科目

指定だが、個別試験の理科が2科目受験なのがA方式、1科目受験なのがB方式となる。理学部は出願時にA、Bの方式を選択するが、国際教養学部と国際商学部では不要。5(6)教科7(8)科目を受験しておくことと大学側で自動集計し、受験生が有利な方で可否を判定する。募集人員もA方式の方が多いので、横市を受験するなら5(6)教科7(8)科目を受験しておくことだ。データサイエンス学部はセンター試験が4(5)教科6(7)科目(地歴公民と理科から2科目受験)受験となる。

## 4 オープンキャンパス情報

○**金沢八景キャンパス** 8/7(火) 理学部・データサイエンス学部

8/8(水) 国際教養学部・国際商学部・データサイエンス学部

○**福浦キャンパス** 8/25(土) 医学部医学科

8/26(日) 医学部看護学科

□**施設公開・講演会** 8/4(土) 木原生物学研究所(舞岡キャンパス・市営地下鉄舞岡駅下車徒歩10分)

※予約不要 実験教室・展示・体験コーナー 理学部入試説明会 施設(実験圃場見学) 講演会 研究所公開

□**データサイエンス学部イベント** ひらめき☆ときめきサイエンス 身近なデータの分析で、君もデータサイエンティストの仲間入り

8/4(土) 金沢八景キャンパス(横浜市大WEBサイトより申し込み 7/6締切)

一般選抜入試実施状況(2018年度入試)

学部	学系・学科	募集人員	志願者数	受験者数		合格者数		入学者数
				A方式	B方式	A方式	B方式	
国際総合科学部	国際教養学系 [前期]	A方式	55	419	331	181	74	97
		B方式	30			331	61	
	国際都市学系 [前期]	A方式	50	406	352	244	57	78
		B方式	25			352	33	
	経営科学系 [前期]	A方式	120	895	795	580	160	192
		B方式	60			795	71	
理学系 [前期]	A方式	50	168	153	73	58		
	B方式	30	73	67	31	26		
DS学部	データサイエンス学科 [前期]	40	295	273	48	45		
	データサイエンス学科 [後期]	5	115	63	8	7		
医学部	医学科 [前期]	85	286	242	92	85		
	看護学科 [前期]	70	191	175	91	70		

一般選抜合格最低点・合格者平均点(2018年度入試)

学部	学系・学科	合格最低点		合格者平均点				
		総合		センター試験		個別試験		
		得点率	配点	得点率	配点	得点率	配点	
国際総合科学部	国際教養学系 [前期]	A方式	62.5	1,500	75.1	1,000	48.8	500
		B方式	69.8	1,200	84.4	700	56.3	500
	国際都市学系 [前期]	A方式	64.5	1,500	73.9	1,000	52.8	500
		B方式	70.2	1,200	83.2	700	57.1	500
	経営科学系 [前期]	A方式	67.2	1,500	73.4	1,000	62.8	500
		B方式	73.9	1,200	82.0	700	67.8	500
理学系 [前期]	A方式	61.1	2,100	72.4	1,200	56.5	900	
	B方式	62.1	1,800	73.7	1,200	52.2	600	
DS学部	データサイエンス学科 [前期]	69.4	2,000	78.5	1,300	60.3	700	
	データサイエンス学科 [後期]	79.4	1,500	82.4	1,300	70.3	200	
医学部	医学科 [前期]	71.0	2,200	89.4	1,000	64.9	1,200	
	看護学科 [前期]	68.5	1,300	74.2	1,000	65.2	300	

DS学部はデータサイエンス学部のこと

### 滋賀大学データサイエンス学部企画

君の未来にチャレンジ! 無料オンライン講座「高校生のためのデータサイエンス入門」

7月17日開講、受講者募集受付中。データサイエンス学部AO入試にも活用

元祖データサイエンス学部

# ◇武蔵大学

私立大学を難易度ごとに一括りにする際、早慶上理、MARCH、…などと表現することがある。今更説明するまでもないが、早稲田、慶應義塾、上智、東京理科が「早慶上理」、「MARCH」は明治、青山学院、立教、中央、法政である。武蔵大はそういった括りでいえば、「成成武國」の中の一校だ。成成は成蹊、成城で武が武蔵、國は漢字からも分かるように國學院大學である。MARCHあたりを本命にしている受験生が、併願校としてリストアップするのが、このあたりの大学になるだろう。

武蔵大は本校から受験する生徒は多くはないが、小規模大のメリットを活かした授業は、世間的な評価も高く、「ゼミの武蔵」として名前が知られている。ならば調べておこう、ということになり、説明会に出かけてきました。

## 1 学部・学科・キャンパス

経済学部、人文学部、社会学部の3学部からなり、在籍学生数は大学全体で4千8百人と小規模だ。慶應・経済は1学部だけで約5千人で、それよりも少ない。江古田キャンパスに大学と系列の中学、高校があり、体育施設は朝霞グラウンドに集まっている。江古田キャンパスは西武池袋線江古田駅から徒歩6分、閑静な住宅街の中にある。キャンパスに一步入ると大ケヤキが立ち、川も流れていて、野鳥も姿を見せる。練馬区「静けさ10選」にもランクインしていて、癒しの空間が広がっている。

## 2 教育

○ゼミの武蔵 ゼミは1年から4年の必修科目で、学部ごとのゼミの他、学部横断型のゼミも行われている。一方的に講義を聴く授業とは異なり、学生がさまざまな意見を発表しながら進めていくゼミナール形式の授業は「元祖アクティブラーニング」ともいえる。ゼミは毎年400以上開講されて、1年間のゼミの成果は、ゼミ大会で発表される。

○グローバル教育 武蔵大のルーツは7年制の旧制武蔵高等学校(1922年設立)で、武蔵大学の開設は1949年である。建学の三理想は、「東西文化融合」「世界雄飛」「自調自考」。これを現代風に言い換えて、「自立」自ら調べて自ら考える 「対話」心を開いて対話する 「実践」世界に思いをめぐらし、身近な場所で実践する と大学の3つの目標に定め、「グローバル市民」の育成を謳っている。全学的には、テンプル大学ジャパンキャンパスとの単位互換プログラム、MCV (Musashi Communication Village)、協定校への留学制度などがあり、学部単位では、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラム (PDP 経済学部)、グローバル・スタディーズコース(GSC 人文学部)、グローバル・データサイエンスコース(GDS 社会学部)などが用意されている。PDP、GSCではほとんど英語で授業が行われ、GDSでも英語能力の向上を目指した重点的な授業が行われている。

## 3 入試について

○2018年度入試 実質倍率は右表に示す通り、前年度入試に比べてアップしている。私大入学定員の厳格化の影響を大きく受けていると大学では分析している。

### ○2019年度入試

- ◆一般入試方式 全学部統一2科目型(1回の受験で全学部・学科に出願可)  
全学部統一グローバル型(英語資格は出願条件)  
個別学部併願3科目型

- ◆センター方式 前期日程(3科目型入試、金融のみ外国語+高得点科目)  
後期日程(2科目型入試、外国語+高得点科目  
日本・東アジア文化のみ外国語+国得点科目)

※合格者最低得点率をみても分かるように、標準的な問題が中心の出題である。しかし、対策なしでは合格は難しい。今年度の受験状況は0/11だった。

小規模だが評価できる大学

1	国際教養大学
2	武蔵大
3	国際基督教大
4	金沢工業大
5	会津大
6	成蹊大
7	産業能率大
8	都留文科大
9	一橋大
9	津田塾大

面倒見が良い大学

1	金沢工業大
2	東北大
3	武蔵大
4	国際教養大
5	明治大
6	立命館大
7	産業能率大
8	福岡工業大
9	高知工大
10	秋田県立大

大学通信「進路指導教諭が評価する大学ランキング」より

一般入試倍率の推移

入試種別	2014	2015	2016	2017	2018
個別学部	4.9	5.4	5.3	5.7	7.8
全学部2科目	7.2	7.8	4.9	6.8	9.5
全学部グローバル型	-	-	-	1.9	1.9
センター前期	3.1	2.7	2.3	3.2	5.2
センター後期	2.4	4.1	3.5	6.0	3.4

2018年度入試合格者最低得点率(%)

学部	学科	個別	全学部2科目	全学部グローバル	セ前	セ後
経済	経済	74.0	79.5	58.0	80.0	84.8
	経営	83.1	79.8	59.7	80.8	87.8
	金融	73.8	79.5	67.0	86.0	83.5
人文	英語英米文化	82.1	79.7	74.0	76.2	85.0
	ヨーロッパ文化	71.0	78.5	71.2	77.2	85.7
	日本・東アジア文化	71.3	80.0	71.2	77.2	82.8
社会	社会	72.5	81.7	79.0	79.4	81.7
	メディア社会	83.0	80.9	74.0	80.0	83.0

# ◇東京工業大学

今更紹介するまでもないだろう、理工系志望の受験生ならだれでも憧れる東工大。ルーツは1881年設立の東京職工学校。製造現場や工業教育の指導者養成を目的に発足したが、その後校名を変えて発展してきた。長い間、東京蔵前に校舎があり、「煙突のあるところ蔵前人あり」と言われるほど豊富な人材を生み出し、工業技術の目覚ましい発展において「蔵前」は力強く時代を牽引してきた。

その後、関東大震災を機にキャンパスは現在の岡山に移転され、1929年に「東京工業大学」となった。以来、「東工大」は国立理工系研究総合大学として国内外より高く評価されている。2年前には、従来の学部・学科に変えて学院・系をスタートさせ、学部・学院を見通した学士・修士・博士各課程を継続的に学修しやすいカリキュラムを整備し提供している。

## 1 学院・系

各学院と系（研究分野）の対応は右表に示すとおり、6つの学院と17の系から構成される。今年度までは類別に学生募集していたが、来年度からは学院単位での募集に変更される。

## 2 教育

東工大における教育の目標は蔵前時代から変わらぬ「技術者、研究者の養成」にある。その為、深い教養とコミュニケーション力を身に付けることは必須であり、リベラルアーツ教育、グローバル人材育成の環境が整っている。

## 3 入試について

○2018年度入試 センター試験は出願条件としての利用で、英語リスニングを加えた950点満点で、600点が基準点である。今年度入試では基準点未到達が74名いた。

各科目及び総合得点の分布を右図に示した。各グラフにおける得点の階級や人数は非公表である。また、棒グラフの色を付けたところが受験者平均の位置である。大学発表のコメントは以下の通り。

センター成績と個別試験成績との相関は高くないが、センター650点以下の合格者は3%（25名）と少ない。

センター数学上位者でも、個別数学では苦戦。数学平均点での合格は難しい。

センター英語の得点は受験者平均が

197/250と高い。個別英語は分布が狭い。  
※英語は1,400字、900字の長文読解が2題。英語論文の要約を1,000字程度でまとめることが多いので、将来に備えてのボリュームだとか。研究者養成に重心を置いた出題方針のようです。

○2019年度入試 入試科目や配点、センター試験の取り扱いなどに変更はない。変更点は、来年度入試より学院別の募集になり、希望順に3つの学院を選択して出願する。全体の合格ラインを決めてから、得点順に学院を決定するので、「どの学院が合格しやすいか」などは考えなくてもよい。

入学時の募集人員と2年系所属時の受け入れ可能数

学院	系	受入可能人数	募集人員
理学院	数学系	29	151
	物理学系	61	
	化学系	44	
	地球惑星科学系	32	
工学院	機械系	144	348
	システム制御系	48	
	電気電子系	90	
	情報通信系	49	
	経営工学系	62	
物質理工学院	材料系	92	178
	応用化学系	109	
情報理工学院	数理・計算科学系	37	92
	情報工学系	64	
生命理工学院	生命理工学系	164	150
	建築学系	62	
環境・社会理工学院	土木・環境工学系	40	109
	融合理工学系	45	
	全学合計		

2018年度入試 個別試験成績分布 [ ]は配点

